

様々な機能を活用してみましょう

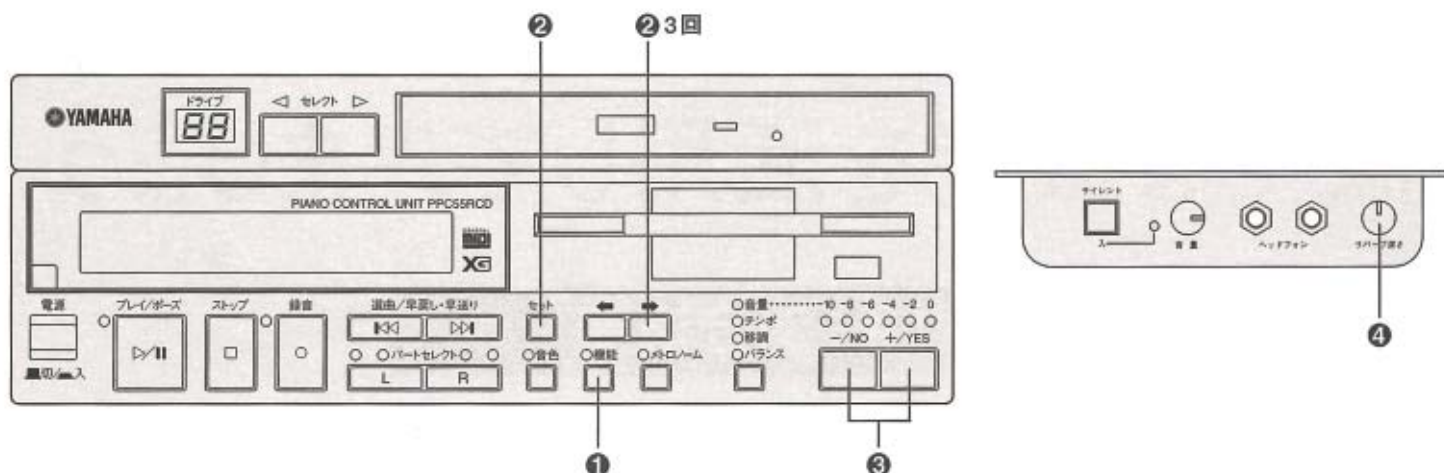
1：消音演奏

この章では、消音演奏（サイレント）時に活用できる機能をご紹介します。ピアノ電子音に豊かな残響を加えるなど曲や雰囲気に合わせてお楽しみください。

- 消音演奏時のピアノ電子音に残響効果を加える（リバーブの設定）……………P54
- 消音時の自動演奏で鍵盤を動かさないようにする（鍵盤動作のキャンセル）……………P55
- ピアノ電子音の発音数を切り替える（最大同時発音数の切り替え）……………P56
- 内蔵電子音源（XG音源）とピアノ電子音を同時に発音する／発音しないを切り替える（音色モード・音色機能）……………P57

消音演奏時のピアノ電子音に残響効果を加える

■リバーブの設定



- 「リバーブ」は、残響を加えて、音に自然なうねりを与える効果のことで、「タイプ」を設定します。
- リバーブのタイプは次の3種類です（初期値はホール1）。

タイプ名	効果
ルーム	響きやすい部屋の中で弾いた時のような残響効果
ホール1	小さなコンサートホールで弾いた時のような残響効果
ホール2	大きなコンサートホールで弾いた時のような残響効果



- ピアノを弾いて効果をスピーカーの音やヘッドフォンで確認しながら設定できます。
- ④で設定後、[機能ボタン]を押せば曲名表示に戻ります。



- 電源を切ってもこの設定は記憶されています。



- ① [機能ボタン]を押します。

▶ ティスク *MIDI Setup →
*M-Tune *サイレント

- ② [カーソルボタン]を3回押して「▶サイレント」と表示させ、[セットボタン]を押します。

リハーフ ▶ ホール1
ケンパシオン = ON ハツオンスウ = 3 2

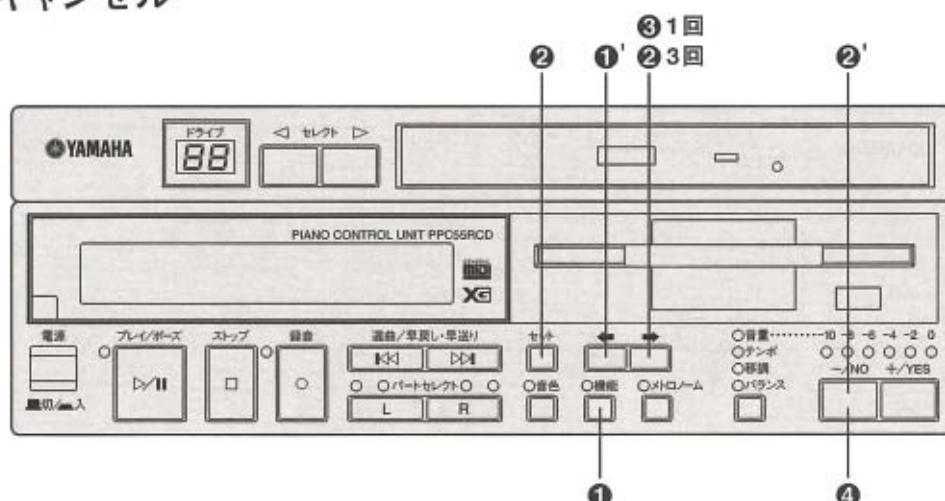
- ③ [-/NOボタン][+/YESボタン]でリバーブのタイプを選びます。




リハーフ ▶ ルーム
ケンパシオン = ON ハツオンスウ = 3 2


- ④ リバーブの深さ（かかり具合）はスイッチボックスの[リバーブ深さツマミ]で調整します。

消音時の自動演奏で鍵盤を動かさないようにする

■鍵盤動作のキャンセル



-  ●自動演奏では通常鍵盤が動きますが、この機能を使うと、サイレント時に限って鍵盤の動作をキャンセルすることができます。
-  ●鍵盤を動かしたい時は、④または②'の表示で「+ / YES ボタン」を押します。
-  ●電源を切ってもこの設定は記憶されています。
●リセット機能 (P34 参照) を実行した場合、工場出荷時の状態 (ON) に戻ります。

-  ●停止状態 (曲名表示) で設定します。

- ① [機能ボタン] を押します。

▶ ティスク *MIDI Setup →
*M-Tune *サイレント

- ② [カーソルボタン ⇄] を 3 回押して「▶サイレント」と表示させ、[セットボタン] を押します。


リハーフ = ホール 1
ケンパン = ON ハツオンスウ = 3 2

- ③ [カーソルボタン ⇄] を 1 回押して「ケンパン▶ON」と表示させます。

リハーフ = ホール 1
ケンパン ▶ ON ハツオンスウ = 3 2

- ④ [- / NO ボタン] を押すと「ケンパン▶OFF」となり、鍵盤動作がキャンセルされます。

リハーフ = ホール 1
ケンパン ▶ OFF ハツオンスウ = 3 2

-  鍵盤動作をすばやくキャンセルする。
(サイレント状態なら、停止中でも再生中でも行えます)

- ①' 曲名表示中に [カーソルボタン ⇄] を押して「ケンパン▶ON」と表示させます。

ケンパン ▶ ON (0 0 : 1 2) →

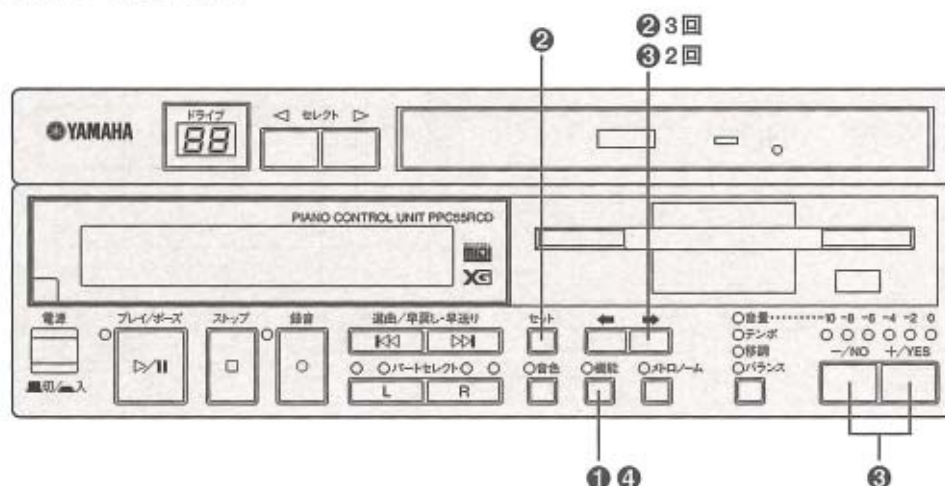
- ②' [- / NO ボタン] を押すと「ケンパン▶OFF」となり、鍵盤動作がキャンセルされます。

ケンパン ▶ OFF (0 0 : 1 3) →

※ [カーソルボタン ⇄] を押すと曲名表示に戻ります。

ピアノ電子音の発音数を切り替える

■最大同時発音数の切り替え



●ピアノ電子音の最大同時発音数は、あらかじめ32音（ステレオサンプリング）になっていますが、連弾やペダルを多用する曲の演奏や再生では、それ以上の同時発音数が必要になる場合があります。こうした場合に、最大同時発音数を64音（ステレオ）に切り換えるための機能です。



●電源を切ってもこの設定は記憶されています。
●リセット機能（P34参照）を実行すると、工場出荷時の状態（32音）に戻ります。



① [機能ボタン]を押します。

▶ ティスク *MIDI Setup →
*M-Tune *サイレント

② [カーソルボタン⇔]を3回押して「▶サイレント」と表示させ、[セットボタン]を押します。

リハーフ▶OFF
ケンパシ=ON ハツオンスウ=32

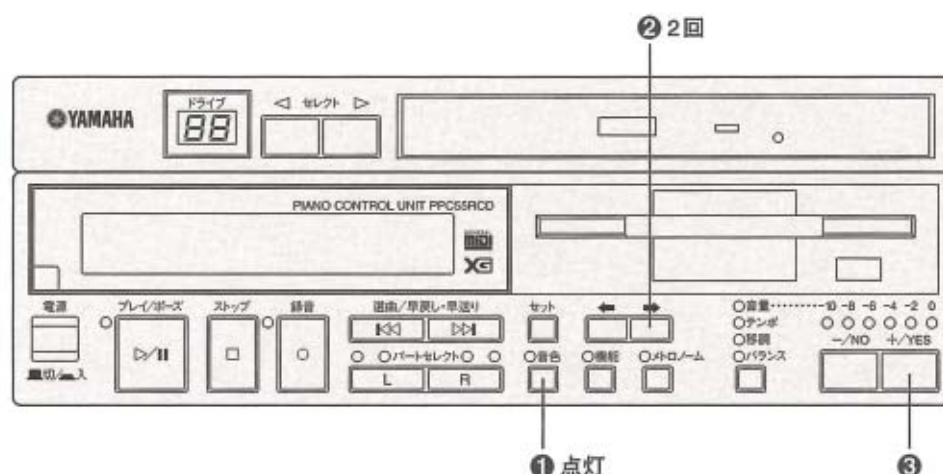
③ [カーソルボタン⇔]を2回押して「▶ハツオンスウ」と表示させ、[－/NOボタン][＋/YESボタン]で最大同時発音数を変更します。

リハーフ=ルーフ
ケンパシ=ON ハツオンスウ▶64

④ 設定後、[機能ボタン]を押すと曲名表示に戻ります。

内蔵電子音源 (XG 音源) とピアノ電子音を同時に発音する／発音しないを切り替える

■音色モード (音色機能)



- 本機では、ピアノの鍵盤で内蔵の電子音源 (XG 音源) を使って演奏できます。
- サイレント時には、ピアノ電子音も同時に発音させる (発音させない) ことができます。
- サイレント解除時には、ピアノ音は必ず同時に発音します。



- 「Piano Tone」は、サイレント解除時には画面に表示されません。

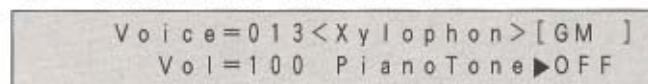


- ① [音色ボタン] を押して点灯させます。



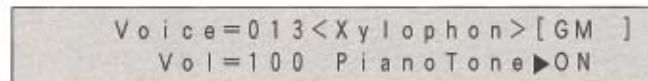
- ② [カーソルボタン⇐⇒] を2回押して、「PianoTone▶OFF」と表示させます。

ピアノ電子音を同時に発音しない場合



- ③ [+ / YES ボタン] を押して「PianoTone▶ON」と表示させます。

ピアノ電子音を同時に発音する場合



様々な機能を活用してみましょう

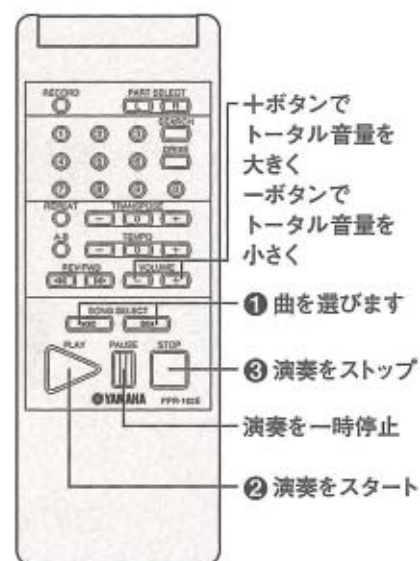
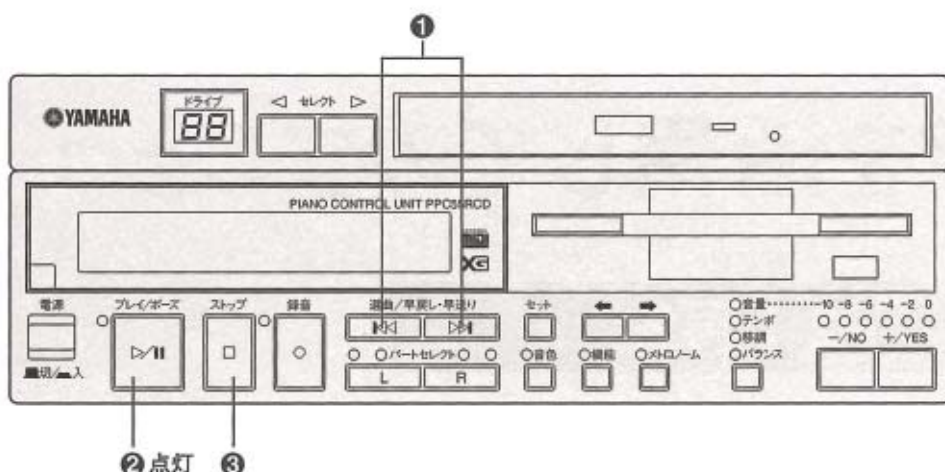
2：再生

この章では、いろいろな再生機能をご紹介します。
アンサンブル曲を手軽に再生したり、リモコンを使った各種リピート再生、
音量の調節や移調・テンポ変更など、多彩な機能をご活用ください。

●アンサンブル曲を再生する(アンサンブル曲の再生)	P60
●LR曲を片手パートずつ再生する(パートキャンセル)	P61
●ペダル効果なしで再生する(ペダルキャンセル)	P62
●テンポを変えて再生する(テンポ調節)	P63
●移調して再生する(移調調節)	P64
●早戻し・早送りする(早送り・早戻し/サウンド早送り・早戻し)	P65
※●聴きたい曲をすばやく選曲する(ダイレクト選曲)	P66
※●全曲を繰り返し再生する(全曲リピート)	P67
※●全曲をランダムな曲順で再生する(ランダムリピート)	P68
※●好きな1曲だけを繰り返し再生する(1曲リピート)	P69
※●曲中の聴きたいところを頭出しする(ダイレクトサーチ)	P70
※●曲中の好きな部分だけを繰り返し演奏する(A-Bリピート)	P71
※●曲中の好きなところに早戻しする(リターン&ストップ)	P72
●ピアノパートとアンサンブルパートの音量バランスを調節する(TG マスターバランス)	P73
●ピアノパートを別の音色で再生する(ピアノパート音色変更)	P74
●アンサンブルパートの音色・音量を変更する(アンサンブルパート音色変更)	P75
●アンサンブルパートをピアノで再生する(ピアノパートセレクト)	P76
●ペダルカウント録音曲を弾き始めの合図をいれて再生する(ペダルカウントの再生)	P77

アンサンブル曲を再生する

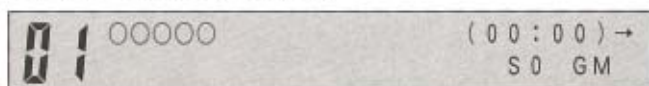
■アンサンブル曲の再生



- 機能**
- アンサンブル曲とは、ピアノ以外のアンサンブルパートをもった曲のことです。
 - アンサンブル曲の再生では、ピアノパートをピアノまたはピアノ電子音が、ピアノ以外のアンサンブルパートを内蔵XG音源が再生します。
- ポイント**
- 再生に関する操作は、ふつうの曲と全く同じ。一時停止、選曲、早送り・戻し、音量・移調・テンポの調節なども行えます。
- 注意**
- リズムパートはリズム音色を正しく再生するため、移調の設定にかかわらず移調されません。

- 手順**
- 再生したい曲が入っているドライブを選択します (P31 参照)。

- ① アンサンブル曲を選びます。



- ② [プレイ/ポーズボタン]を押せば、再生スタート。

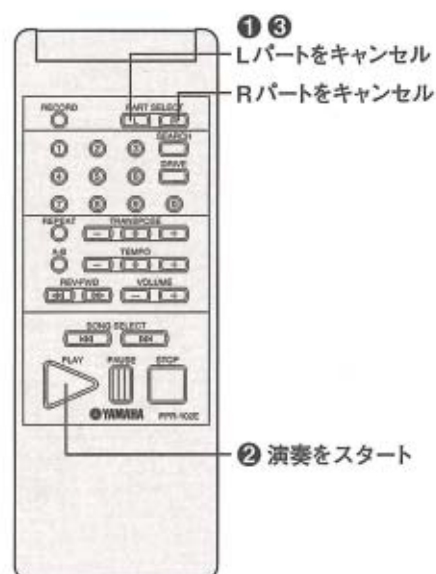
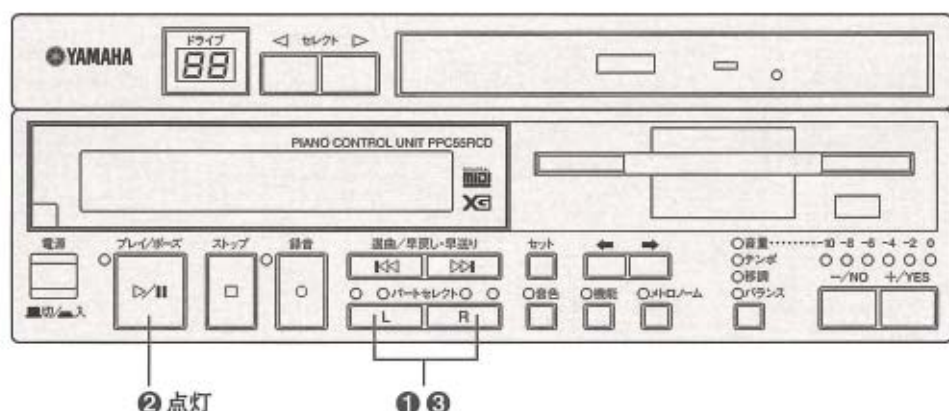


- ③ [ストップボタン]を押せば停止します。



LR 曲を片手パートずつ再生する

■パートキャンセル



- LR対応ソフト (P27 参照) や LR録音 (P23, 80 参照) した曲で、ピアノパートの内で聴きたいパートだけ再生させる機能です。
- 片手パートだけの再生や、連弾曲などをパートごとに再生することができます。通常、Lは低音側・左手パート、Rは高音側・右手パートです。
- 再生・ポーズ・停止中とも操作できます。
- メモリディスク/フロッピーのいずれでもできます。



- LR対応曲を選ぶと、[パートセレクトボタン]が2つとも緑に点灯します。
- 点灯しているパートが再生され、点滅しているパートがキャンセルされます。
- パートキャンセルとパートキャンセルの解除は、[パートセレクトボタン]を押すごとに切り換わります。
- 電源を切ったり、ディスクを取り出したりすると、パートキャンセルの設定は解除されます。
- サイレント時は、ピアノ電子音の指定したパートの再生がキャンセルされます。この状態で、鍵盤で演奏を行うと、ピアノ電子音が発音します。



- もともと演奏が入っていないパートのランプは点灯しません。
- 再生する曲がLR対応曲やLR録音した曲でないと、ピアノパート片手キャンセルはできません。



- LR対応曲を選曲して操作します

- ① [パートセレクトボタン]のキャンセルしたい方を押します。



- ② [プレイ/ポーズボタン]を押すと、パートキャンセルの状態で再生がスタートします。

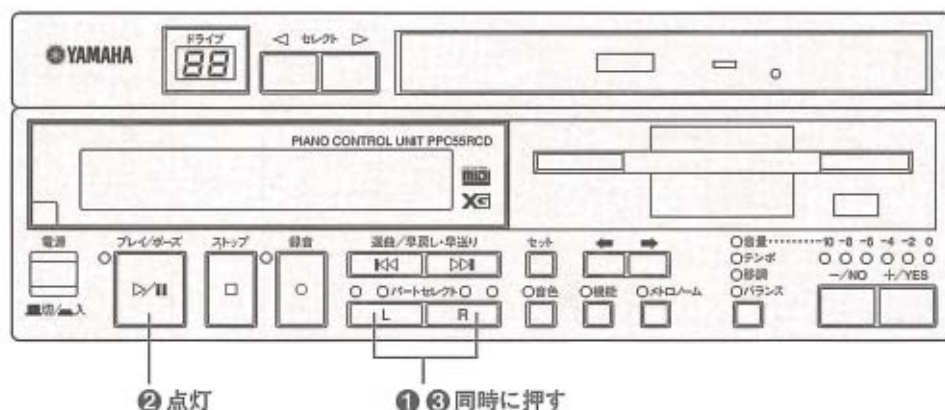
- ③ もう1回①で押したボタンを押すと、パートキャンセルが解除されます。



※この間、ディスプレイには曲名が表示されています。

ペダル効果なしで再生する

■ペダルキャンセル



- ピアノパートのペダル効果をキャンセルして再生します。再生・ポーズ・停止中とも操作できます。
- LR対応曲でピアノパートの片方のパートのみ再生し、もう片方のパートを演奏しつつ、ペダリングを行う場合などに使います。
- メモリディスク/フロッピー/付属ピアノソフトプラスオーディオCDのいずれでもできます。



- サイレント時は、ペダル効果をキャンセルして、ピアノ電子音の再生を行います。
- 違うディスクを選んだり、電源を切ると設定は初期値(ON)に戻ります。



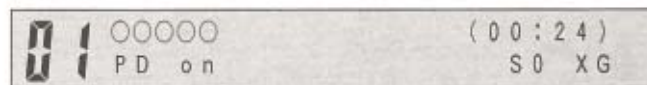
- ① [パートセレクトボタン]を2つ同時に押します。



- ② [プレイ/ポーズボタン]を押すと、ペダルキャンセル再生スタート。

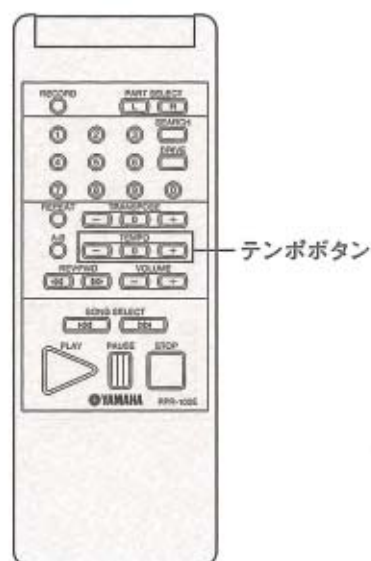
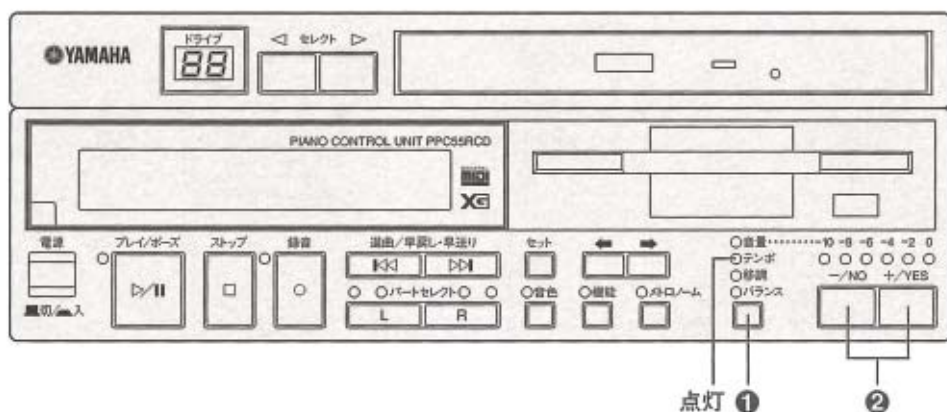


- ③ もう1回①の操作をすると、ペダルキャンセルが解除されます。



テンポを変えて再生する

■テンポ調節



- 機能**
- テンポを調節します。再生・ポーズ・停止中とも操作できます。
 - 1%きざみで、-50%～+20%の範囲で調節できます。
- ポイント**
- [-/NOボタン]、[+/YESボタン]を同時に押すと、直接オリジナルのテンポに戻ります。
 - リモコンでは、[テンポボタン]で調節できます。また、[0ボタン]で直接オリジナルのテンポに戻ります。
 - 別の曲を選んでも、調節されたテンポで再生されます。
 - 電源を切ったりフロッピーやCDを取り出したりすると、オリジナルのテンポに戻ります。
 - 曲のテンポを変更して記録したい場合は、P100「録音テンポ変更」参照。(※「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」などの市販E-SEQソフトは不可。)



- ① [セレクトボタン]を何回か押してテンポランプを点灯させます。**



《メトロノーム録音の場合》

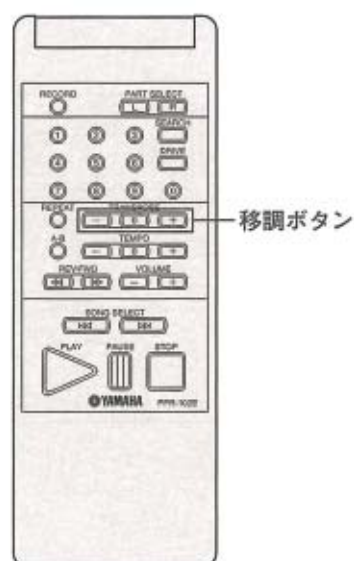
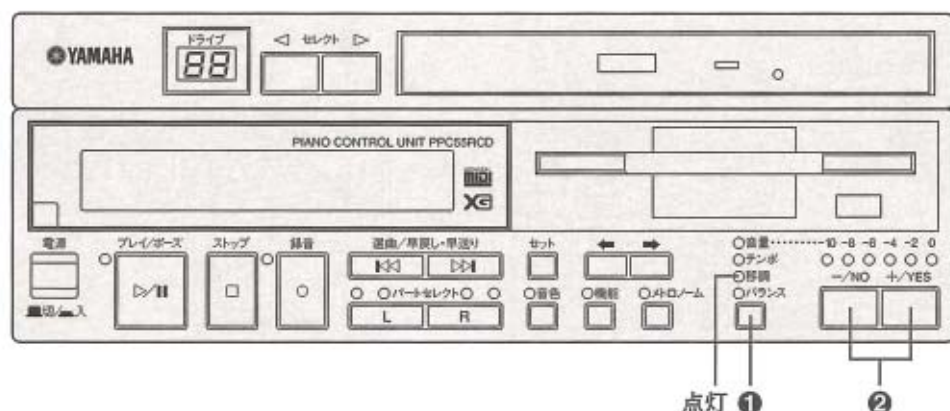


- ② [-/NOボタン][+/YESボタン]でテンポを調節します。**



移調して再生する

■移調調節



- 機能**
- 曲全体の音程を移調して再生できます。
 - メモリスディスク/フロッピー/CDの曲を移調できます。
 - 2オクターブ～+2オクターブの範囲で、半音単位に調節できます。※オーディオCDの実質調節範囲は-3～+3半音程度です。

- ポイント**
- 画面には移調の設定値が表示されます。「イチョウ 00」＝オリジナルの調、「イチョウ+12」＝1オクターブアップ、「イチョウ-24」＝2オクターブダウンというように、半音単位に設定できます。
 - [－/NOボタン][＋/YESボタン]を同時に押すとオリジナルの調に戻ります。
 - リモコンでは[移調ボタン]で調節できます。[＋ボタン]で高く、[－ボタン]で低くなります。また[0ボタン]を押すとオリジナルの調に戻ります。
 - 移調の設定後は、別の曲を選んでも設定した調で再生されます。
 - 電源を切ったりフロッピーを取り出したりするとオリジナルの調に戻ります。
 - 曲を移調して記録したい場合はP114「トラック移調」参照。(※「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」などの市販E-SEQソフトは不可。)

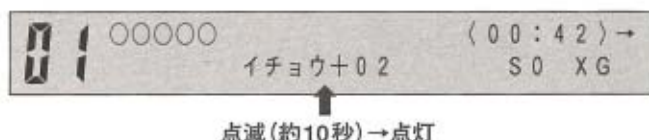
- 注意**
- 消音演奏(サイレント)時はピアノ電子音の再生音が移調されます。ピアノの音は聴けません。

- 手順**
- 再生/一時停止/停止中ともに操作できます。

- ① [セレクトボタン]を何回か押して、[移調ランプ]を点灯させます。

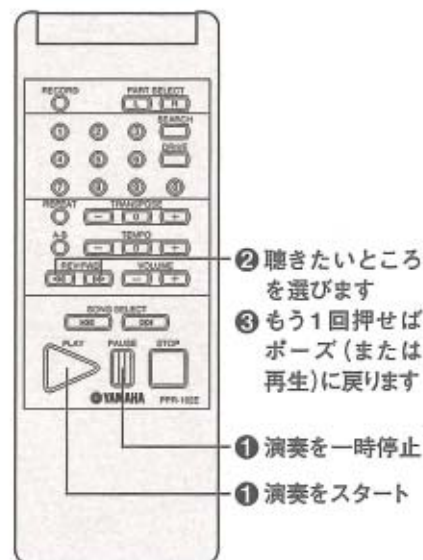
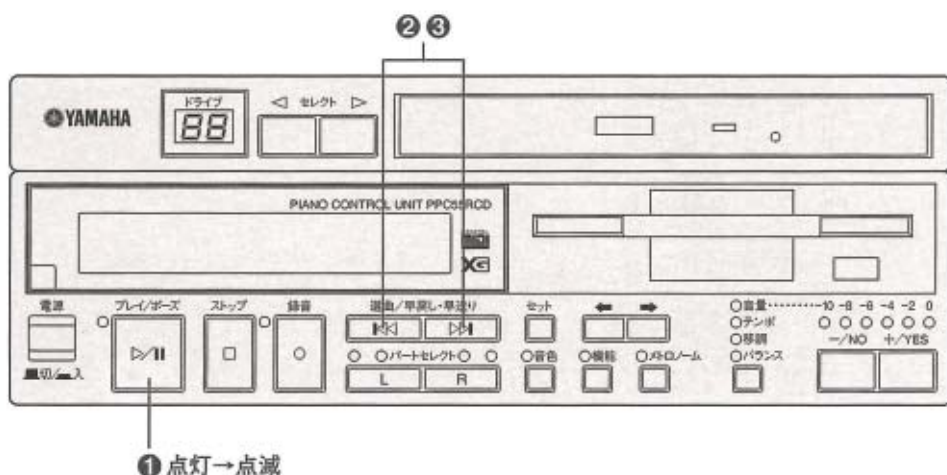


- ② [－/NOボタン][＋/YESボタン]を押して、移調の範囲を設定します。



早戻し・早送りする

■早戻し・早送り(サウンド早戻し・早送り)



- 機能**
- 曲中の聴きたい所を探す機能です。ポーズ(一時停止)中に操作します。
 - 弱音量で音を出しながら早戻し・早送りさせることもできます(サウンド早戻し・早送り機能)。再生中に操作します。

- ポイント**
- 曲の経過時間(小節・拍)はディスプレイで確認できます。
 - 曲の頭、終わりで自動的にポーズになります。
 - サウンド早戻し・早送り中に[ストップボタン]を押すと、ポーズ状態になります。[プレイ/ポーズボタン]を押せば、その時点から演奏が再開します。
 - サイレント時は、サウンド早戻し・早送り中は、ピアノ電子音で再生されます(ピアノの音は鳴りません)。ヘッドフォンまたは本体のスピーカーでお聴きになれます。

●通常の早戻し・早送り

- ① [プレイ/ポーズボタン]を押して演奏をスタートし、もう1度[プレイ/ポーズボタン]を押して演奏を一時停止します。



- ② [選曲/早戻し・早送りボタン]を押します。



- ③ もう1度選んだ向きの[選曲/早戻し・早送りボタン]を押すと一時停止に戻ります。



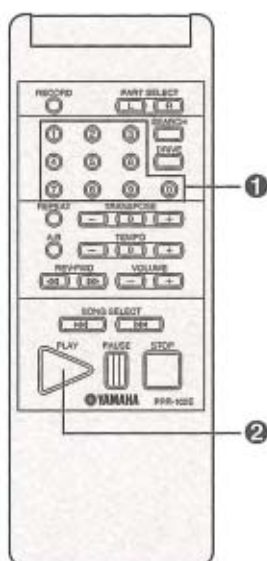
●音を出しながらの早戻し・早送り

- ① [プレイ/ポーズボタン]を押して演奏をスタートします。
- ② [選曲/早戻し・早送りボタン]を押します。
- ③ もう1度[選曲/早戻し・早送りボタン]を押すと演奏が再開します。

聴きたい曲をすばやく選曲する

■ダイレクト選曲

※リモコンでのみ操作可能です。



●リモコンの[テンキー]で曲番号を直接指定して、聴きたい曲を再生できます。再生・ポーズ・停止・録音待機中とも選曲可能。



- 再生中に操作すると、曲番号が点滅後選曲した曲が演奏スタート。②の操作は必要ありません。
- ポーズ・停止中に操作すると、選曲された曲の頭で停止します。[プレイボタン]を押して演奏をスタートさせてください。
- 曲番号が一桁の場合は「01」または「1」と押します。



●記録されている曲数より大きい曲番号を指定すると、最後の曲が選曲されます。例えば、10番までの場合に11番以降を指定すると10番が選ばれます。



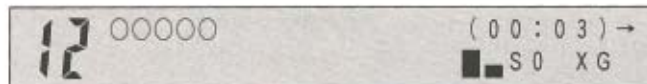
●再生させたい曲が入っているドライブをあらかじめ選択してください(P31 参照)。

① [テンキー]で曲番号を押します。

12

※例えば12曲目を聴きたい時は、テンキーの⑪を押し、次に⑫を押します。

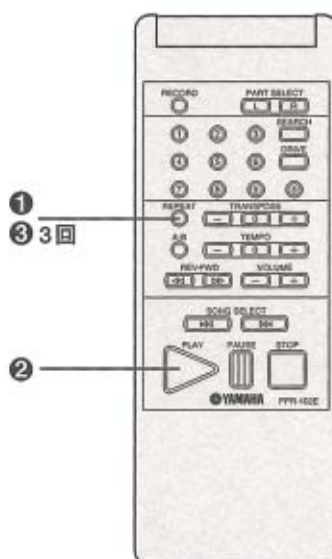
② [プレイボタン]を押せば演奏がスタートします。



全曲を繰り返し再生する

■全曲リピート

※リモコンでのみ操作可能です。



機能 ●メモリディスク(0～9, A～F)/フロッピー/CDのうち、選択されているドライブ(1枚分)の全曲を1曲目から順に繰り返し演奏させる機能です。再生・ポーズ・停止中とも操作可能。

ポイント ●リピートボタンを押すごとに、ALL→RPT→RND→OFF(解除)が設定できます。
●電源を切ったりフロッピーやCDを取り出すと、ふつうの再生に戻ります。

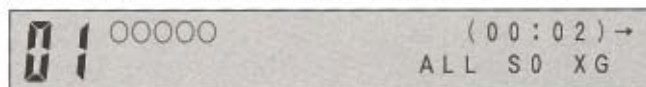
注意 ●複数のリピート機能を組み合わせて使用することはできません。



- ① [リピートボタン]を1回押します。
画面に「ALL」と点滅します。



- ② [プレイボタン]を押せば、リピート演奏スタート。



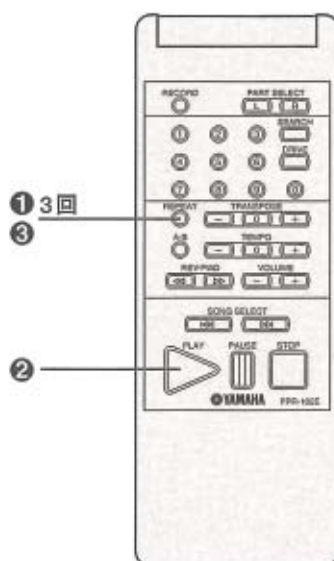
- ③ [リピートボタン]を3回押してOFFを表示させれば、リピートが解除されます。



全曲をランダムな曲順で再生する

■ランダムリピート

※リモコンでのみ操作可能です。



●メモリディスク(0~9, A~F)/フロッピー/CDのうち、選択されているドライブ(1枚分)の全曲をランダムな曲順で演奏させる機能です。再生・ポーズ・停止中とも操作可能です。



●リピートボタンを押すごとに、ALL→RPT→RND→OFF(解除)が設定できます。
●電源を切ったりフロッピーやCDを取り出したりすると、ふつうの再生に戻ります。



●複数のリピート機能を組み合わせて使用することはできません。



- ① [リピートボタン]を3回押します。
画面に「RND」と点滅します。



- ② [プレイボタン]を押せば、リピート演奏スタート。



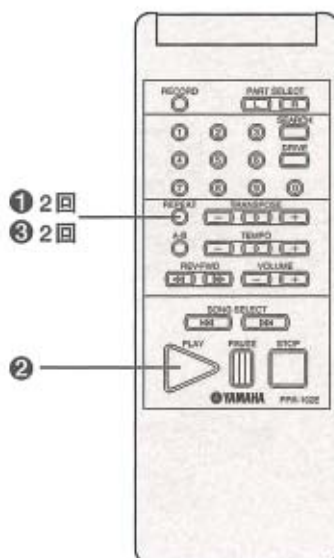
- ③ [リピートボタン]を1回押してOFFを表示させれば、リピートが解除されます。



好きな 1 曲だけを繰り返し再生する

■ 1 曲リピート

※リモコンでのみ操作可能です。



- 1 曲を繰り返し演奏させる機能です。再生・ポーズ・停止中とも操作可能。
- メモリディスク／フロッピー／CD のいずれの曲でもできます。



- 繰り返し演奏する曲を、あらかじめ選曲 (P38、39、42、44 参照) してから操作します。
- [リピートボタン] を押すごとに、ALL → RPT → RND → OFF (解除) が設定できます。
- 電源を切ったりフロッピーや CD を取り出したりすると、ふつうの再生に戻ります。



- 複数のリピート機能を組み合わせて使用することはできません。



- ① [リピートボタン] を 2 回押します。
画面に「RPT」と点滅します。



- ② [プレイボタン] を押せば、リピート演奏スタート。



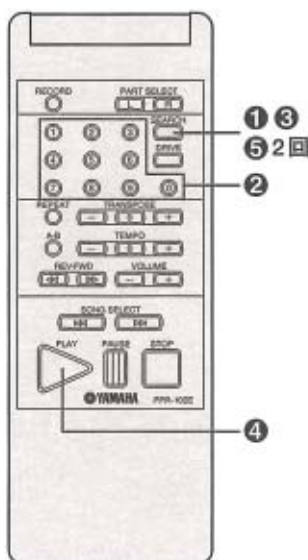
- ③ [リピートボタン] を 2 回押して OFF を表示させれば、リピートが解除されます。



曲中の聴きたいところを頭出しする

■ダイレクトサーチ

※リモコンでのみ操作可能です。



●ダイレクトサーチは、A-Bリピート (P71) やリターン&ストップ (P72) と違って、分・秒 (時間録音)、小節・拍 (メトロノーム録音) で、選択されている曲の中の再生開始個所を指定できる機能です。サーチ個所は、電源を切ったりフロッピーやCDを取り出すまで記憶しています。

●例えば②は、テンキーで ①①②④ と入力します。

●再生中に操作すると、指定した個所から自動的に演奏がスタートします。ポーズ・停止中に操作すると、指定個所で一時停止します。[プレイボタン]を押して、演奏をスタートさせてください。

●別の曲を選んでも、設定は有効です。

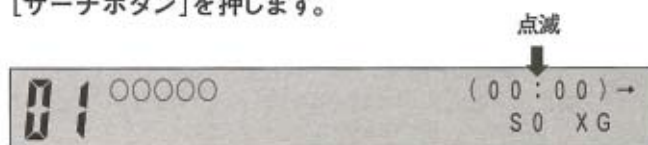


●実際の曲の長さより先の場所を指定すると、曲の末尾にサーチします。



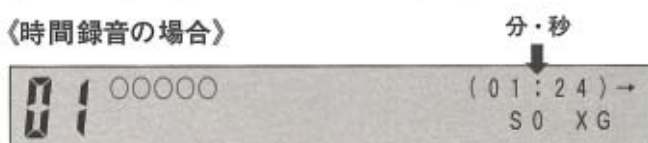
●再生中、またはポーズ・停止中に操作します。

① [サーチボタン]を押します。

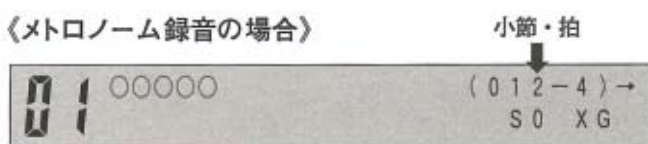


② [テンキー]で頭出しするところの経過時間を入力します。

《時間録音の場合》



《メトロノーム録音の場合》



③ もう1回[サーチボタン]を押せば、指定個所をサーチします。

④ [プレイボタン]を押して演奏スタート。

※再生中に操作した場合は不要です。



⑤ [サーチボタン]を2回押せば、再び指定個所をサーチします。

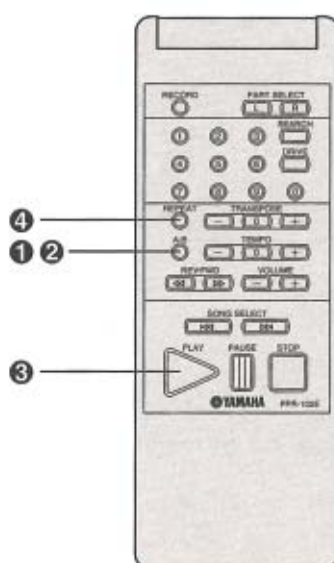
※ポーズ・停止中に操作した場合は、プレイボタンを押して演奏をスタートさせます。

※再生中に操作した場合は、頭出しの地点から演奏が始まります。

曲中の好きな部分だけを繰り返し再生する

■A-B リPEAT

※リモコンでのみ操作可能です。



- 選択されているドライブの1曲中の2点(A点・B点)を指定し、A-B間を繰り返し演奏させる機能です。
- 曲を再生させておき、A点、B点を指定します。B点を指定すると、自動的にA点に早戻しして一時停止します。

[A-BリPEAT]



B点を指定すると自動的にA点まで戻って一時停止。
プレイ/ポーズボタンを押すと再生スタート。

- メモリディスク/フロッピー/CDのいずれでもできます。



- ①でリPEATを解除してもA点・B点は記憶されています。再度A-Bボタンを押すと、ディスプレイの「OFF」が「A-B」に変わり、A-BリPEATが行えます。
- 記憶されているA点・B点を変更したりクリアしたい場合は、「A-B」が表示されている状態で、A-Bボタンを押します。
- 電源を切ったりフロッピーやCDを取り出したりすると、ふつうの再生に戻ります。



- 複数のリPEAT機能を組み合わせて使用することはできません。
- 2曲以上にまたがって使用することはできません。



- 1 再生中にリPEAT開始個所で[A-Bボタン]を押します。



- 2 リPEAT終了個所でもう1度[A-Bボタン]を押すとリPEAT開始個所まで早戻しし、一時停止します。



- 3 [プレイボタン]を押せば、A点から演奏スタート。



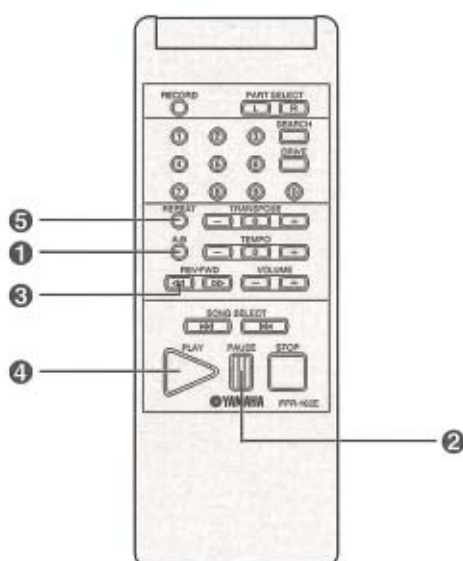
- 4 [リPEATボタン]を押してOFFを表示させれば、リPEATが解除されます。



曲中の好きなところに早戻しする

■リターン&ストップ

※リモコンでのみ操作可能です。



- 繰り返し開始のA点のみ指定して再生し、好きな個所からA点に早戻しして一時停止させる機能です。

[リターン&ストップ]



A点のみ指定し、[早戻しボタン]を押すと、A点に戻って一時停止します。[プレイボタン]を押すと再生スタート。

- メモリディスク/フロッピー/CDのいずれでもできます。



- [早戻しボタン]は、押したらすぐに離します。
- ⑤でリピートを解除してもA点は記憶されています。再度[A-Bボタン]を押すと、ディスプレイの「OFF」が「A-B」に変わり、リターン&ストップが行えます。
- 記憶されているA点を変更したりクリアしたい場合は、④の一時停止状態で、[A-Bボタン]を押します。
- 電源を切ったりフロッピーやCDを取り出したりすると、ふつうの再生に戻ります。



- ②の[ポーズボタン]を省略して[早戻しボタン]を押すと、サウンド早戻しでA点に戻ります。
- 2曲以上にまたがって使用することはできません。



- 再生中に繰り返し開始個所で[A-Bボタン]を押します。



- [ポーズボタン]を押して、一時停止させます。



- [早戻しボタン]を押すと、①で設定した個所に戻って、一時停止。



- [プレイボタン]を押せば、A点から演奏スタート。



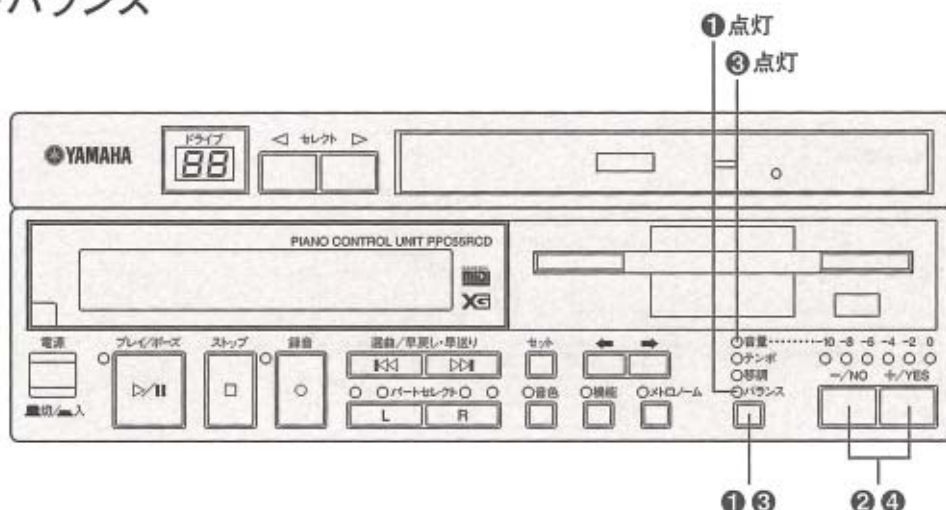
- [リピートボタン]を押してOFFを表示させれば、リピートが解除されます。



※⑤でリピート演奏を解除し、ふたたびリターン&ストップを使う時は、リピートボタンを押してディスプレイにA-B(Bは点滅)と表示させます。

ピアノパートとアンサンブルパートの音量バランスを調節する

■TG マスターバランス



●音量調節を行うと、ピアノの音量とアンサンブルパートの音量が一緒に変化しますが、TG マスターバランスは、アンサンブル曲の再生中に、ピアノ（サイレント時はピアノ電子音）の音量とアンサンブルパートの音量のバランスをとる機能です（停止中でも設定はできます）。

●内蔵音源の音量は、0（最小）～100（初期値）～127（最大）の範囲で調節できます。また「OFF」にするとアンサンブルパートが無音になります。

●「TG マスターバランス」の設定は、メモリディスク／フロッピーのみ有効です。



●[－/NO ボタン][＋/YES ボタン]を同時に押すと初期値（100）になります。



●マスターバランスは、リセット機能を実行するまで記憶されています（P34 参照）。



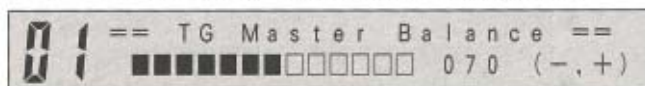
●再生中に音量を確認しながら操作します

- ① バランスランプが点灯するまで何回か[セレクトボタン]を押します。



アンサンブルパートの再生音量

- ② ピアノとバランスがとれるよう、内蔵音源の音量を[－/NO ボタン][＋/YES ボタン]で調節します。



以上でマスターバランスが新しい設定に変更されました。トータルの音量を調節したい場合は、引き続き③④の操作を行ってください。

- ③ [セレクトボタン]を1回押して、音量ランプを点灯させます。

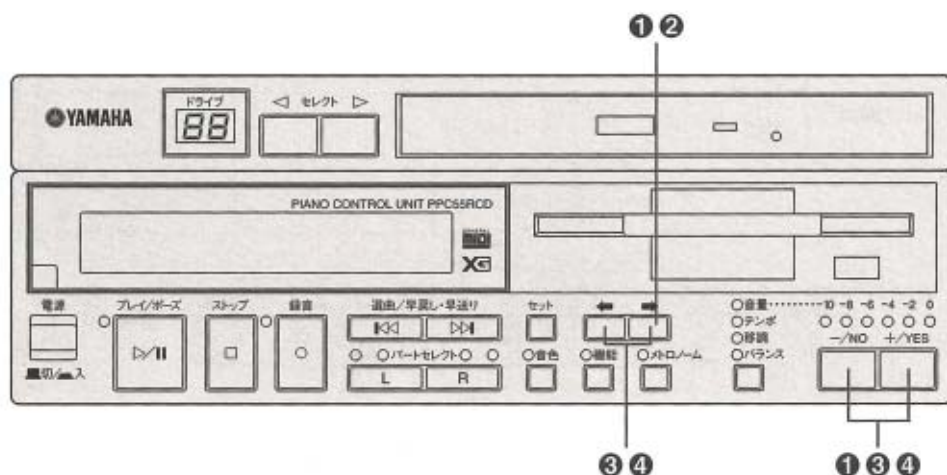


- ④ [－/NO ボタン][＋/YES ボタン]でトータルの音量を調節します。

②で設定したバランスを保ってピアノパートとアンサンブルパートの音量が一緒に変化します。

ピアノパートを別の音色・音量で再生する

■ピアノパート音色・音量変更



- アンサンブルパート(トラック)ごとの音色や音量を一時的に変更できるのと同様に、ピアノパート(LRに指定されているトラック)の音色や音量を変更することができます。
- ピアノパートのトラックを選び、音色・音量を設定します。



- ボーズ中に設定すると便利です。
- 本機のフロントパネルで選べる内蔵電子音源(XG音源)の音色は、480ノーマル音色+11ドラム音色(ディスプレイの音色名は8文字以内に省略して表示しています)。拡張音色はP24参照、音色番号・音色名一覧表はP164-167参照。



- 一時的でなく完全に別の音色・音量に変更してしまう場合は、P99参照。
- MIDIデータにより演奏する場合の内蔵音源(XG音源)の音色数は、676ノーマル音色+21ドラム音色です。
- ピアノパートのデータは通常ピアノ音(サイレント時にはピアノ電子音)のみで演奏されますが、MIDI接続時、ピアノパートもMIDI出力させることが可能になります(P152参照)。内蔵音源(XG音源)で発音させることも可能です(「Piano Part ESBL Out」P151参照)。



- 再生中、もしくはボーズ中に操作します。

- 1 [カーソルボタン<=>]を1回押して下の画面を呼び出し、[一/NOボタン][+/YESボタン]で「L=# #」「R=# #」に設定します。



- 2 曲名表示画面で[カーソルボタン<=>]を押し、音色設定画面を呼び出します。



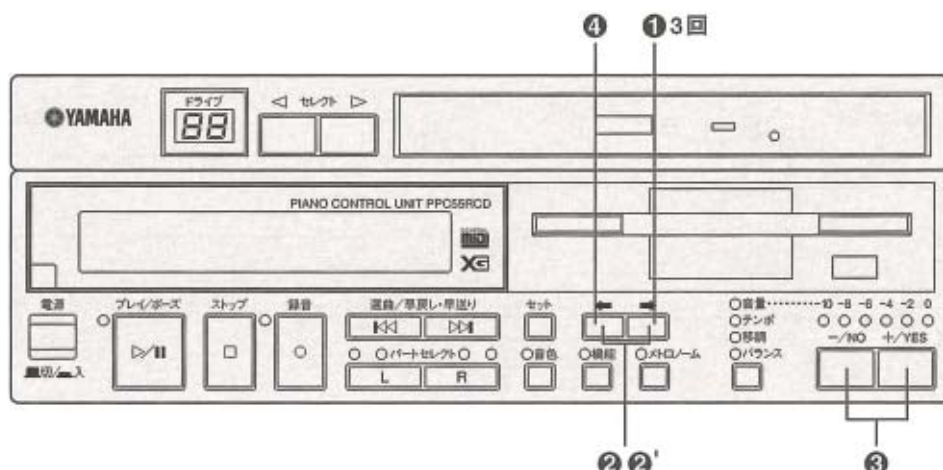
- 3 [一/NOボタン][+/YESボタン]でピアノパートのトラック番号を選びます。
(ピアノのトラック番号の見方はP25参照)。
- 4 [カーソルボタン]で設定する項目(音色番号/音量)を選び、[一/NOボタン][+/YESボタン]で設定します。



- 拡張音色を選ぶ場合の操作はP75参照。

アンサンブルパートの音色・音量を変更する

■アンサンブルパート音色・音量変更



●アンサンブルパート(トラック)ごとの音色や音量を一時的に変更することができます。トラックを選び、音色・音量を設定します。



- ポーズ中に設定すると便利です。
- 本機のフロントパネルで選べる内蔵電子音源(XG音源)の音色は、480ノーマル音色+11ドラム音色(ディスプレイの音色名は8文字以内に省略して表示しています)。拡張音色はP24参照、音色番号・音色名一覧表はP164-167参照。
- ②'の状態を含めると、コントロールパネルで選択できる音色は全部で480ノーマル音色+11ドラム音色です。
- ②'の画面に切り換えた時に選択できるXGの拡張音色は、②の128基本音色に対するバリエーション音色です。拡張音色にはバンク番号が付いており、②'の画面に切り換えると音量表示がバンク番号表示に切り換わります(Vol=000→Bnk=000)。拡張音色はP165-166参照。



- 一時的でなく完全に別の音色・音量に変更してしまう場合は、P99参照。
- MIDIデータにより演奏する場合の内蔵音源(XG音源)の音色数は、676ノーマル音色+21ドラム音色です。
- XG音色のバンク番号は必ずしも連続した番号ではありません。
- 各基本音色に対する拡張音色の数は一定ではありません。例えば「Voice=001<GrandPno>」に対する拡張音色は4種類ですが、「Voice=002<BritePno>」に対応する拡張音色は1種類です。
- 基本音色によっては対応するXGの拡張音色を持たないものもあります。例えば「Voice=060<Mute.Trp>」は対応する拡張音色を持たないため、②'の画面に切り換えても拡張音色を選ぶことはできません。

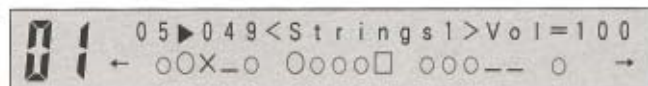


●曲再生中、もしくはポーズ中に操作します

- 1 曲名表示画面で、[カーソルボタン<=>]を3回押し、音色設定画面を呼び出します。



- 2 [カーソルボタン]で設定する項目(トラック、音色、音量)を選びます。



- 2' 拡張音色を選ぶには、[カーソルボタン]で▶を音色名の前に移します。



- 3 [-/NOボタン][+/YESボタン]で、トラック、音色、音量を設定します。



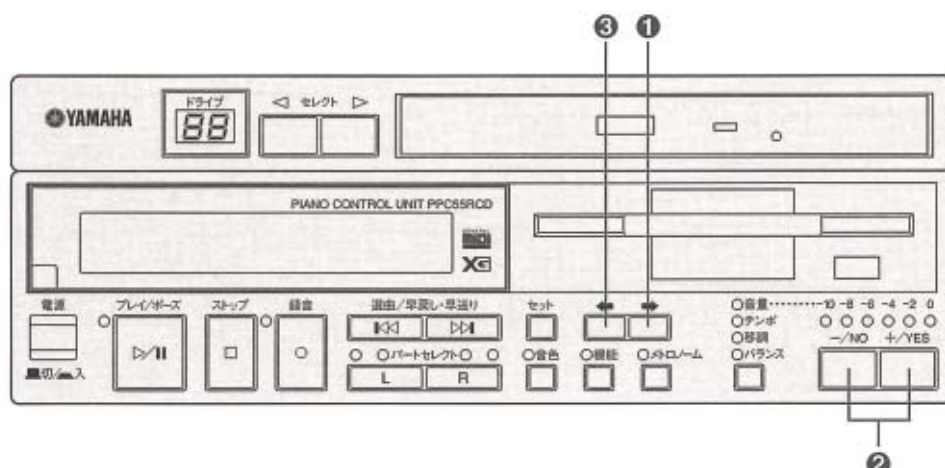
拡張音色を設定している場合の表示



- 4 [カーソルボタン<=>]を何回か押すと曲名表示画面に戻ります。

アンサンブルパートをピアノで再生する

■ピアノパートセレクト



●アンサンブル曲は、16のパートからできており、パートのことを「トラック」と呼びます。通常、トラック1と2はピアノ用で、Lパート、Rパートと呼んでいます。そして3～16の14トラックがそれ以外のアンサンブルパートの記録に用いられます(トラック10は通常リズムパートに使われます)。

[アンサンブル曲のトラック表示の見方]



-ピアノ再生パート
-アンサンブルパート
-リズムパート(通常、トラック10)
-演奏が入っていないことを示します

●E-SEQフォーマットでハーフペダル対応曲の場合、トラック3には「X」が表示されます。

●ピアノパートセレクトは、アンサンブルパートのトラックを、ピアノで一時的に再生する機能です(データは変更されません)。



●Rパートは、[カーソルボタン<=>]で「R▶02」と表示させ、②と同様に設定します。

●サイレント時はピアノパートやL、Rに割り当てたアンサンブルパートはピアノ電子音で再生されます(ピアノの音は鳴りません)。ヘッドフォンまたは本体のスピーカーでお聴きになれます。



●再生時にトラック画面を表示させておくと、内蔵電子音源で演奏中のトラックが点滅します。音量・移調・テンポ・リピート機能は、[カーソルボタン<=>]を何回か押して前画面に戻して操作します。

●別の曲を選ぶと、ピアノパートセレクトの設定は解除されます。



●曲再生中、もしくはポーズ中に操作します。

- ① 曲名表示画面で、[カーソルボタン<=>]を1回押し、トラック表示画面を呼び出します。



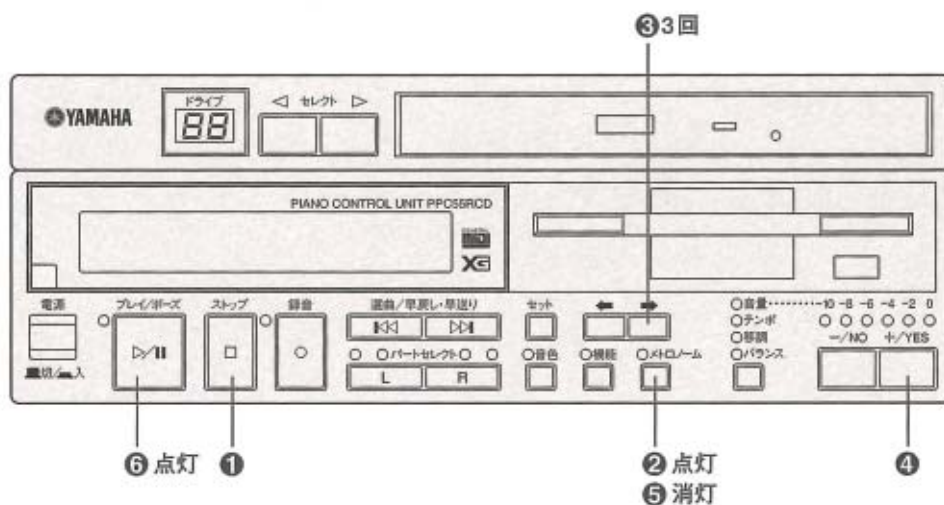
- ② [-/NOボタン][+/YESボタン]でピアノで再生したいトラックを選びます。



- ③ [カーソルボタン<=>]を何回か押すと曲名表示画面に戻ります。

ペダルカウント録音曲を弾き始めの合図をいれて再生する

■ペダルカウントの再生



●曲の開始前に電子メトロノーム音と[－/NOボタン][＋/YESボタン]上部の点滅で、テンポや弾き始めのきっかけを知らせる機能です。

●あらかじめペダルカウントを録音する必要があります (P82 参照)。また、市販LR対応ソフトの中にはペダルカウントが録音されているソフトもあります。

●再生がスタートすればカウントは止まります。



●自動演奏と一緒に弾き始める時などに便利です。

●サイレント時は、内蔵音源 (XG 音源) を使ったメトロノームが鳴り、ヘッドフォンまたは本体のスピーカーでお聴きになれます。



●オンにすると、電源を切るか、ペダルカウントを解除するまで有効です。



●ペダルカウント録音した曲を選びます (P82 参照)。

① 再生中等であれば、[ストップボタン]を押して停止させます。

② [メトロノームボタン]を押します。

01 ==メトロノーム== (－, ＋, ←, →)
クリック=ON 1 1 7 > 4/4 →

③ [カーソルボタン]を3回押して
「ペダルカウント▶OFF」と表示させます。

01 ==メトロノーム== (－, ＋, ←, →)
←Vol=100 ペダル▶カウント OFF

④ [＋/YESボタン]を押して、
「ペダルカウント▶ON」と表示させます。

01 ==メトロノーム== (－, ＋, ←, →)
←Vol=100 ペダル▶カウント ON

⑤ もう1回[メトロノームボタン]を押せば、設定終了。

01 ○○○○ (00:00)→
SO GM

⑥ [プレイ/ポーズボタン]を押せば、
ペダルカウントスタート。

《ペダルカウントの解除》

④の画面を呼出し、[－/NOボタン]を押して、
「ペダルカウント▶OFF」と表示させます。

01 ==メトロノーム== (－, ＋, ←, →)
←Vol=100 ペダル▶カウント OFF